

平成21年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢二水高等学校

学校長 加 藤 茂 芳

1 教育目標

- ①適性の発見と進路の確立
- ②創造的能力の啓培
- ③健康・明朗にして、人間性豊かな品格の陶冶

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ①本校は、「自由・闊達・明朗・真摯・清新」の校風を持つ伝統ある進学校である。卒業生は2万4千人を超え、政財界や学問・芸術分野など国の内外で幅広く活躍している。
- ②本校は、平成15年度から「いしかわスーパーハイスクール」の指定を受け、質の高い学習内容を提供して、学ぶ意欲を一層喚起し、高い志を持って国際社会においてリーダーとして貢献できる人材を育成するよう努めてきた。三期目の指定を受け、新たな目標を掲げ達成に向けて努力をしていく必要がある。
- ③本校生徒は基本的な能力が高く、学習活動にしっかり取り組むことができるが、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が高いとはいえず高める必要がある。
- ④本校生徒は、チャレンジ精神を持ち、進路実現に向けて努力を継続していくという面では、意識をさらに高めていく必要がある。
- ⑤生徒の学力格差が広がりつつあり、職員の教科指導において、今まで以上の改善が必要であり、研修や研究を取り入れ指導力の向上を目指す必要がある。
- ⑥社会の価値観の多様化により、職員の生徒指導において、校内外での連携を強化する必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①広い視野を持ち、自ら考え、行動する生徒を育成する。
- ②高い志と知力を備え、国際社会においてリーダーとして活躍できる生徒を育成する。
- ③文武両道をめざし、たくましく生きる生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ①生徒への限らない愛情、教育に対する使命感と情熱を持つ。
- ②専門職としての知識と教育技術を高め、絶えず自己研鑽に努める。
- ③校務に対して達成すべき目標を掲げ、常に改善・向上をはかる意識を持ち、一丸となって学校運営にあたる。

3 今年度の重点目標

- ①生徒の学力をより一層高めるために教科指導の質的向上に努めるとともに、あらゆる学習活動を通して論理的思考力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の伸張を図る。
- ②生徒が高い進路目標を持ち、目標に向かって邁進していくことのできる進路指導体制の確立をはかる。
- ③健康の促進と体力の向上を図りながら、進学校としての部活動を追究し、品位ある言動ができる自己管理能力を育成する。